

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【公開番号】特開2001-52228(P2001-52228A)
【公開日】平成13年2月23日(2001.2.23)
【出願番号】特願平11-223480
【国際特許分類第7版】
G 0 7 D 1/00
【F I】
G 0 7 D 1/00 G B M

【手続補正書】
【提出日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

複数コインを収納するためにほぼ鍋形になるタンクを備えると共に当該タンクの内底にディスクを回転自在に備えて前記コインを一個ずつ外部に放出するようにしたホッパ装置において、前記ディスクが回転自在に配設される前記タンク内底壁の高さが段差を有するようにしたことを特徴とするコインのホッパ装置。

【請求項2】
請求項1の記載において、前記タンク内底壁の高さが大小二段の段差を有することを特徴としたコインのホッパ装置。

【請求項3】
請求項2の記載において、前記タンク内底壁の高さの大である部分が全体の約1/2分の1以上であることを特徴としたコインのホッパ装置。

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】変更
【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明は、複数コインを収納するためにほぼ鍋形になるタンクを備えると共に当該タンクの内底にディスクを回転自在に備えて前記コインを一個ずつ外部に放出するようにしたホッパ装置において、前記ディスクが回転自在に配設される前記タンク内底壁の高さが段差を有するようにしたことを特徴とするコインのホッパ装置である。また本発明は、前記タンク内底壁の高さが大小二段の段差を有することを特徴としたコインのホッパ装置である。また本発明は、前記タンク内底壁の高さの大である部分が全体の約1/2分の1以上であることを特徴としたコインのホッパ装置である。

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0014】

この基台装置 2 5 は回転軸 2 2 を駆動するための電気モータ 2 6 やギア列 (図示略) などが収納されている。

— 上述した実施例はディスク 2 1 が回転されるとコインが貫入孔 2 3 内に落ち込んで重なる。重なった一番下のコインが爪 2 4 によって基台装置 2 5 の上面 2 7 にてスライド移動される。そして最終的に規制ピン (図示略) にガイドされてコインが出口 1 6 から装置外に放出されることになる (図 2 の矢印を参照) 。